

～今、市民の森では！～



作成: NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可: 茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、回参加も受け付けております。

お問い合わせは 75-1772。
記号の説明:
①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
②xx:ガイドブック22「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は、茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

24日に延期してやっど実施 (悦)
6月は土砂降りが予想され、観察も座学も中止しました。7月16日もまたもや雨。2か月連続なので23日に延期してやっど開催できました。

しかし、11時ごろから30度を越える猛暑との予報から、11時終了を目標に、沢沿いの小径→野鳥の小径中間まで、山頂コースを長るというルートを設定しました。四阿で蟻地獄(ウスバカゲロウの幼虫)の観察、沢沿いの小径でキノコ、ミドリヒメザゼンソウの花などを観察、そして野鳥の小径でアサギマダラの蛹を観察できました。5月の観察の時に、野鳥の小径で沢山のアサギマダラの卵を見つけたことが、蛹は3頭の観察のみでした。やはり、野生での生存は厳しいことを実感しました。今回は、参加者のお孫さん(14男児)も参加され、オニヤンマを追いかけ、捕獲に成功。オニヤンマの大きさを皆で観察できました。4月、5月はお休みだった昆虫担当スタッフが復帰したので、昆虫観察に熱がはいりました。



虫たちの生態 (矢)

久々の月例観察会。猛暑の中、午前中のみの短い観察会でしたが、この季節ならではの虫たちの生態を見ることができました。特に蝶の幼虫は一つの種であつても色や模様が多様多様なことを知りました。

● 銀色のアマガエル！



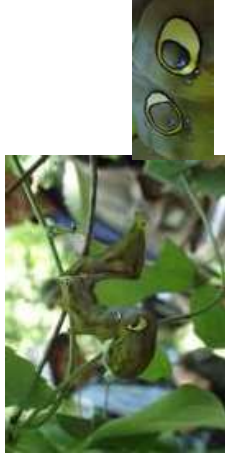
アマガエルの体色は緑のイメージですが、環境に合わせて変化させるようです。このアマガエル、個い所では黒っぽいですが、日が当たると銀色に輝きましたー！

● 沢沿いの不思議な穴は…



砂浜ではカニやヤドカリが掘ったこのような穴をよく見かけますが、これはサワカガニなのだろうか？

● アケビコノハ幼虫の眼状紋



外敵から身を守るための眼状紋立派だけれどちよつとひょうきん威嚇のポーズも人には通じない？

● 白い花のようなマメドクガの模様



マメドクガに限りませんがイモムシ・クムシの模様は多種多様。なぜこのような模様に見えるのか(まだ道半ば?)、その進化の過程をみてみたい。

7月観察した植物

- ミドリヒメザゼンソウ⑧0
- ワハコ①97
- ネジババ
- ムラサキシキブ①93
- イケマ①98
- ハルジオン②83
- ダイコソノブ①86
- キツネボタン①87

< 果実 >

- ニガイチゴ①72
- ガマズミ①83
- ウツギ①88
- ウメガサソウ①94
- クモキリソウ①94
- フタリシズカ①83
- サウワタギ①74
- ツノハシバミ①67
- カラコキカエド①82
- オオアサガラ①130
- マタタビ②83

7月観察した動物 (馬)

< 蝶 >

- オオムラサキ①14
- アサギマダラ蛹②117
- イチモンジチョウ②114
- ジャノメチョウ②116
- コムシジ②116
- ヒヨウモンの仲間
- シロシホタル②119
- アケビコノハ幼虫
- ヤママコノ
- アゲハモドキ幼虫
- アケビコノハ幼虫
- トンボ >
- オニヤンマ ♀ ②127
- ハネピロエトトンボ
- オオシオカトトンボ ♀ ②128
- ニホンカトトンボ無色型 ♂ ②127

- シオカトトンボ ♀ ? ②128
- アキアカネの仲間
- セミ >
- エンゼ②129
- ヒグラシ②129
- エンハルゼミ脱殻②129

< 甲虫 >

- キマワリ②124
- ヨツシハナカミキリ②123
- カメムシ >
- ジュウジナカカメムシ②130
- その他の昆虫 >
- ウスバカゲロウ幼虫 (蟻地獄)
- シリアゲの仲間
- クサカゲロウ
- ヒメギスの仲間
- ワサキの仲間など
- 甲殻類 >
- サワガニ



イケマ



ムラサキシキブ

セミの背中模様比較



ヒグラシ



エンゼ



エンハルゼミ

みんなスゴイ (桂)

暑い日でしたが、いろいろな虫に出会えました。特にアサギマダラの蛹が3つもあり、感激です。👍



👉 枝ソックリのエダシヤク、写真は撮っても食草を見てくるとのを忘れて反省しています。

愛嬌のあるアケビコナハの幼虫(左)、先日葉っぱはソックリの成虫を家で見たばかりです。(右)



ダイコンソウ 6B①86
バラ科
笹栗坊主みたい



ダイコンソウとキツネノボタン (悦)



キツネノボタン 6B①87
キンポウゲ科
金平糖みたい



イモムシ、ケムシ (口)

● だれの繭？



2024.7.23 爾

2022.6.21

タケカサレハ(カサレハガ科) ススキの葉に繭(?)、(矢)さんがこれはタケカサレハの物だと調べてくれました。以前の観察会で毛虫を観察していました。「イモムシ ハンドブック」毒刺毛の注意、この繭も毒注意のようです。

● 枝(?)



枝(?)違いました。シヤクトリムシです。よく拡大して見ると、「お願ひ、枝ってことで」のポーズに昇えます。

マタタビ 虫こぶ (悦)



白化したマタタビの葉の下で、実がなる季節です。しかし、今年、虫こぶ(左写真)だらけで、正常な実(右写真)を見かけません。この虫こぶはマタタビミツクワシと言われ、マタタビミタマバエが、花あるいは果実の産卵することでできるそうです。この虫こぶは、木天蓼(もくてんりょう)と呼ばれ、体を温める効果があり、漢方薬にされます。

ウメガサソウ(梅笠草) 6B①94 (悦)



イチヤクソウ科ウメガサソウ属の多年草ですが、最近の分類ではツツジ科です。ウメガサソウは、ペニバナイチヤクソウ等と同じように、複数の菌類(菌根菌)と共生しており、この場所が、共生関係を維持できる樹木、菌類が揃っており、ウメガサソウにとって都合の良い環境ということになる。

秋の準備着々！ (悦)



ミスヒキ(水引) 6B①103

葉にハの字型の斑紋がある。花は8月中旬から先始めます。



キバナアキギリ (黄花秋桐) 6B①105

葉は三角状卵形が特徴です。花は9月上旬から先始めます。

進化とは何だろう？ (黒)

かわいい学生が参加してくれて、観察会の空気が一変。柔らかな軽く爽やかなになったような気がします。暑い最中の観察会で、短時間でしたが十分楽しめた時間でした。



あすまやでのアリジゴク、まるで、手のゆづ弾を連想させる形。(実際に見たことはないけれど)後ろにしか進めない特殊な進化。必要が無いと言えはそつかもしれないけど、、、？ 不思議？

今年、鹿にやられずにつばみまでつけているウバコリが何本か見られた。これもうれしいことだ。そして市民の森では、初めて見るネジバナ。かわいらしい姿に、増えてくれるといいな、と願う。



最後に、何といっても、今回の目玉、アサギマダラの蛹。3個も見つかった。コナラとイケマの葉裏にぶらさがっていた。黒っぽくなっているのは孵化が近いらしい。薄い色の方は、まだ新しい体を製作中というところか。生き物の進化とは何だろう？ 危険を冒して、無防備な姿で動けない蛹になる。考えてもわからない。



かんばんー！ (SU)

久しぶりの観察会、市民の森はどんな様子か、雨の被害の心配半分、楽しみ半分、で出かけました。荒れた道路には砂利が敷き詰められていて、感謝！！イケマの花に眼が止まり、そうだ、アサギマダラの幼虫は？ せつせと葉をひつくり返すも、いない、いない... それもそのはず、幼虫はもう次の住まいに引っ越してしました。

イケマのすぐ上にある栗やコナラの葉裏にサナギを発見。成長の段階に依りて住まいを変えるのは生きる知恵なのか、親が教えてくれたり保護してくれたたりしないのに、ずいぶん頼もしいことだと、感心するばかりです。羽化も間近、元気に飛翔しように。